

生涯学習支援事業報告

事業の名称	東北大学オープンカレッジ 「杜のまなびや」	事業代表	野口 和人
目的	<p>地域社会に対する貢献の一環、及びインクルーシブ教育の発信としてオープンカレッジを位置付け、知的障害者の生涯学習に関わる支援を行う。また、今後の知的障害者への生涯学習支援を検討する上での実践場面における課題を整理・報告する。</p>		
対象者	<p>知的障害のある学外受講生 東北大学在籍の大学生・大学院生</p>		
内容	<p>● 第一回 講義題目 「インクルーシブな社会を考えよう」 実施日：令和元年 11 月 2 日（土） 担当講師：劉 靖（東北大学大学院教育学研究科・先端教育研究実践センター 准教授）</p> <p>【講義目的】 この講義では、インクルーシブ社会について、「持続可能な開発目標」と関連させながら理解すること、及びインクルーシブ社会の構築に必要なことについて議論を通じて考えることを目的とした。</p> <p>【講義構成】 初めに「持続可能な開発目標」について、基本的な説明の後に動画鑑賞やすごろくゲームを交えて理解を深めた。次に「持続可能な開発目標」の中でもインクルーシブ社会に必要な要素についての詳細な説明を行った。最後にインクルーシブな社会作りのために、どのような学校、訓練、仕事場、コミュニティが必要かというテーマでグループごとのディスカッションと全体発表を行い、担当講師が総括を行った。</p>		

	<p>● 第二回 講義題目 「おもしろサイエンスショー」 実施日：令和元年12月21日 担当講師：阿部 清人（サイエンス・インストラクター）</p> <p>【講義目的】 この講義では、受講生と大学生・大学院生が対等な立場で様々な科学実験を体験し、科学に関する理解を深めることを目的とした。</p> <p>【講義構成】 担当講師が独りで、あるいは受講生を交えて、不思議な興味深い現象を実演してみせ、その後にその現象について講師が科学的説明を行った。受講生や大学生・大学院生が自ら実験に取り組む活動も複数用意されており、参加者は興味を持って講義に参加することが出来ていた。この講義を通じ、身近にある様々な現象、不思議な現象についての科学的知見を深めることが出来た。</p>
<p>実施場所</p>	<p>第一回、第二回とも東北大学文科系総合研究棟</p>
<p>スタッフ</p>	<p>野口 和人（東北大学大学院教育学研究科教授） 藤村 励子（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程） 平野 碧（東北大学教育学部研究生） 大黒 空（東北大学教育学部研究生） 高橋 侑果（東北大学教育学部） 内田 雄樹（東北大学教育学部） 吉田 広人（東北大学教育学部）</p>
<p>受講生</p>	<p>第一回：12名 第二回：9名</p>
<p>スタッフの活動概要</p>	<p>2019.4.12 これまでの取り組みと課題の整理、スケジュールと役割の決定 2019.5.31 研究の目的と方法、講義内容についてのミーティング 2019.6.7 具体的な講義内容についてのミーティング 2019.11.2 第一回杜のまなびやの開催 2019.11.29 第一回杜のまなびや講師へのインタビュー 2019.12.21 第二回杜のまなびやの開催、講師へのインタビュー</p>

<p>受講生の感想</p>	<p>〈第一回〉「インクルーシブな社会を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none">・環境にいいことを考え、行動したいと心から強く思いました。・スゴクゲームで当りが出たらクイズが出来る。わかりやすく説明されていたので、すごく良かったです。・絵は苦手なので、皆の思いをまとめて発表する方が私には向いているなど思いました。・資料の文字、絵を大きくしてほしい。 <p>〈第二回〉「おもしろサイエンスショー」</p> <ul style="list-style-type: none">・電気の実験が良かった。・特別的な講義でしたよね。・来年以降も講義を受けたい。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------